

# 重症高血圧

英語名 : severe hypertension



## A. 患者の皆様へ

ここでご紹介している副作用は、まれなもので、必ずしも起こるものではありません。ただ、副作用は気づかずに放置していると重くなり健康に影響を及ぼすことがあるので、早めに「気づいて」対処することが大切です。そこで、より安全な治療を行う上でも、本マニュアルを参考に、患者さんご自身、またはご家族に副作用の黄色信号として「副作用の初期症状」があることを知っていただき、気づいたら医師あるいは薬剤師に連絡してください。

「高血圧の治療中で特に血圧のコントロールの悪い方などが、解熱消炎鎮痛薬（非ステロイド性抗炎症薬など）、一部の漢方薬（カンゾウ製剤など）、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、経口避妊薬、抗うつ薬、抗がん剤、分子標的薬などの薬剤を使用した場合に「重症高血圧」が引き起こされる場合があります。

高血圧でない人がこれらの薬剤だけで突然重症高血圧を発症することは稀ですが、高血圧症の人では血圧のコントロールが不良になることは珍しくなく、そこから重症高血圧に至ることがあります。

血圧が上がっただけで出てくる特徴的な症状はありません。一部の重症高血圧では、**頭痛、手足が片方だけ動かしにくい、胸の痛み、息切れ、動悸**といった症状が出る場合があります。これらはいずれも危険な症状です。突然これらの明らかな症状がみられた場合には救急車を要請してください。

## 高血圧とは？（初期症状）

血圧とは、心臓が全身に血液を送り出すときに血管の壁を押す圧力のことです。血圧の値は、心臓から押し出される血液量（心拍出量）と血管のしなやかさ（血管抵抗）によって決まります。心臓が収縮したときに最も圧力がかかり（上の血圧；収縮期血圧）、心臓が拡張しているときにも血管に圧力がかかり（下の血圧；拡張期血圧）。診察室血圧で、収縮期血圧が140 mmHg以上、あるいは拡張期血圧が90 mmHg以上のいずれかの場合に、また家庭血圧で135/85 mmHg以上の場合に高血圧と診断されます。高血圧でも、ほとんどの人は自覚症状がありません。しかし、高血圧の状態が続くと全身の血管が障害され、脳出血、脳梗塞、心不全、心筋梗塞、腎臓病などさまざまな臓器障害が引き起こされ、急激な頭痛、めまい、ふらつき、呼吸困難、むくみ、夜間の頻尿などの症状が出現します。

高血圧という副作用を起こす原因となる薬剤としては、解熱消炎鎮痛薬（非ステロイド性抗炎症薬など）、一部の漢方薬（カンゾウ製剤など）、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、経口避妊薬、抗うつ薬、抗がん剤、分子標的薬（血管新生阻害薬など）などが知られています。

## 2. 早期発見と早期対応のポイント

普段から家庭で血圧を測り自分の血圧を知っておくことは、高血圧になったことを早期に発見できるため重要です。家庭血圧が以前より高くなってきたときに、処方されている薬剤や市販の薬剤、サプリメントについてその前後で変更したものがなかったか確認してください。突然「意識がボーっとしておかしくなってきた」、「目が見えにくくなった」、「手足が片方だけ動きにくくなった」、「しゃべるのがおかしくなった」、「息が苦しい」、「急に胸や背中が痛くなった」などの症状が生じた場合には、放置せずに、救急車の要請も含め、ただちに医療機関を受診してください。

一方で、180/120 mmHg以上など、血圧が非常に高いときには注

意が必要ですが、特に何か症状がない限りは、必ずしも直ちに救急車を呼ぶことや救急外来を受診する必要はありません。早めに医療機関を受診しましょう。

なお、医療機関を受診する際には、症状の内容、服用している医薬品の種類と量、服薬からどのくらい時間が経っているのかなどを担当医師もしくは薬剤師に伝えてください。また、家庭血圧の変化の情報も重要ですので、可能なら血圧の測定記録も併せて提示してください。他の医療機関で処方された医薬品や市販の医薬品、サプリメントなどについても服用していれば、伝えてください。

※ 医薬品の販売名、添付文書の内容等を知りたい時は、このホームページにリンクしている独立行政法人医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品 情報検索」から確認することができます。

<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>

※ 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度として、医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院治療が必要な程度の疾病等の健康被害について、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金などの救済給付が行われる医薬品副作用被害救済制度があります。

（お問い合わせ先）

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 救済制度相談窓口

[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話：0120-149-931（フリーダイヤル）[月～金] 9時～17時（祝日・年末年始を除く）